

# 国際オルタナティブ戦略 Q T X-ウィントン・ アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジなし) 成長型

追加型投信／内外／資産複合

2022年12月27日に満期償還となる予定です。

作成対象期間：2020年12月29日～2021年12月27日

第 10 期 決算日：2021年12月27日

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
当ファンドは、主として世界各国の様々な先物取引を活用するとともに、世界各国の株式にも実質的に投資を行い、「マネージド・フューチャーズ戦略」および「株式運用戦略」を活用し、信託財産の成長を目指して運用することを目的としています。ここに運用状況をご報告申し上げます。  
当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

### 第10期末 (2021年12月27日)

基準価額	13,440円
純資産総額	509百万円
騰落率	+11.1%
分配金合計 <sup>(*)</sup>	0円

(\*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufig.jp/>

[ファンド検索] に  
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで  
閲覧およびダウンロード

**MUFG** 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufig.jp/>

### 当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用  
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

# 運用経過

第10期：2020年12月29日～2021年12月27日

## ▶ 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第10期首	12,099円
第10期末	13,440円
既払分配金	0円
騰落率	11.1%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は期首に比べ11.1%の上昇となりました。

## ▶ 基準価額の主な変動要因

### 上昇要因

農産物市場やエネルギー市場の変動、実質的に投資している米ドルなどの外貨建資産通貨が対円で上昇したことなどがプラスに寄与しました。

2020年12月29日～2021年12月27日

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	165	1.238	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
( 投 信 会 社 )	(73)	(0.548)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(88)	(0.657)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	(4)	(0.033)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.011	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	(1)	(0.011)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	166	1.249	

期中の平均基準価額は、13,348円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

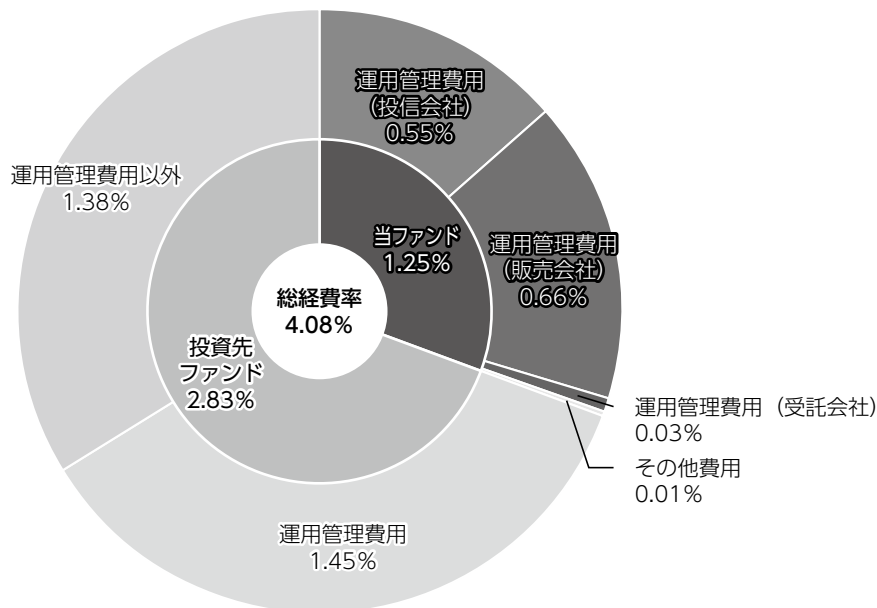
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は4.08%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	4.08
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.25
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	1.45
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	1.38

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2016年12月27日～2021年12月27日

### 最近5年間の基準価額等の推移について



### 最近5年間の年間騰落率

		2016/12/27 期初	2017/12/27 決算日	2018/12/27 決算日	2019/12/27 決算日	2020/12/28 決算日	2021/12/27 決算日
基準価額	(円)	15,213	15,159	15,327	14,796	12,099	13,440
期間分配金合計 (税込み)	(円)	—	0	0	0	0	0
基準価額騰落率	(%)	—	-0.4	1.1	-3.5	-18.2	11.1
純資産総額	(百万円)	2,348	1,565	1,162	959	614	509

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

## ▶ 投資環境について

### ▶ 株式市況

日本を含む先進国の株式市況は、米連邦準備制度理事会（F R B）、欧州中央銀行（E C B）による金融緩和姿勢の継続、またバイデン米政権による経済政策への期待や、新型コロナウイルスワクチンの普及を背景とした経済正常化への期待などから上昇しました。新興国の株式市況は概ね下落しました。

### ▶ 債券市況

日本を含む先進国の債券利回りは、株式市況と同様の理由や、インフレ懸念の高まりなどを背景に上昇しました。新興国の債券利回りも、スプレッド（米国金利に対する利回り差）が拡大したことなどから上昇しました。

### ▶ 商品市況

原油価格は、経済正常化による需給改善期待などを受け上昇しました。金価格は、米ドルがユーロや円に対して上昇したことなどを背景に下落しました。

### ▶ 為替市況

円は米ドルやユーロなどに対して下落しました。

### ▶ 国内短期金融市場

**無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。**

当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.021%となりました。

## ▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ 国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジなし) 成長型

当ファンドは、外国投資法人である Q T X W C M G D P F u n d が発行する円建の外国投資証券「Q T X W C M G D P F u n d (日本円建て、ヘッジ無)」への投資を通じて、主として、世界各国の様々な先物取引を活用するとともに、世界各国の株式にも実質的に投資を行いました。また、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行いました。

期末においては、Q T X W C M G D P F u n d (日本円建て、ヘッジ無) を 95.0%、マネー・プール マザーファンドを少額組み入れています。

### ▶ Q T X W C M G D P F u n d (日本円建て、ヘッジ無)

(当記載は、外国投資法人である Q T X W C M G D P F u n d の資料を基に、三菱 U F J 国際投信が作成したものです。)

Q T X W C M G D P F u n d では実質的にウィントン・キャピタル・マネジメント・リミテッド (以下「ウィントン社」) の「マネージド・フューチャー

ズ戦略」および「株式運用戦略」により運用を行いました。両戦略への配分は、ポートフォリオのリスク等に鑑みウィントン社が決定し、主として、世界各国の株式や先物取引に実質的に投資を行いました。

### ▶ マネー・プール マザーファンド

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を目指した運用を行いました。



## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第10期 2020年12月29日～2021年12月27日
当期分配金 (対基準価額比率)	- (-%)
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	6,180

(注) 対基準価額比率は当期分配金 (税込み) の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

### ▶ 国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジなし) 成長型

引き続き、当ファンドが主要投資対象とする外国投資法人である Q T X W C M G D P F u n d が発行する円建の外国投資証券「Q T X W C M G D P F u n d (日本円建て、ヘッジ無)」への投資を通じて、主として、世界各国の様々な先物取引を活用するとともに、世界各国の株式にも実質的に投資を行います。また、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行います。

### ▶ Q T X W C M G D P F u n d (日本円建て、ヘッジ無)

(当記載は、外国投資法人である Q T X W C M G D P F u n d の資料を基に、三菱 U F J 国際投信が作成したものです。)

Q T X W C M G D P F u n d では実質的にウィントン社の「マネージド・フューチャーズ戦略」および「株式運用戦略」により運用を行います。両戦略への配分は、ポートフォリオのリスク等に鑑みウィントン社が決定します。

### マネージド・フューチャーズ戦略

主として世界中の先物及び先渡取引を投資対象とし、ウィントン社の計量分析に基づくコンピューター・プログラムにより取引対象の値動きの方向性を捉え追隨すること (トレンド・フォロワー戦略) によって収益の獲得を目指します。当戦略は、世界中の100以上の様々な市場に投資をすることで分散ポートフォリオを構築、ロング・ポジション (買い持ち) 及びショート・ポジション (売り持ち) の両方を駆使することで特定の市場における資産価格の上昇のみに依存しないように設計されています。

### 株式運用戦略

世界中の株式を投資対象とし、現物株式や株式指数のロング・ポジション (買い持ち) 又はショート・ポジション (売り持ち) を活用する、株式市場の上昇だけに依存しない収益の獲得を目指す戦略です。取引対象の売買判断及び配分比率の決定はウィントン社の計量分析に基づくコンピューター・プログラムにより行われます。

▶ **マネー・プール マザーファンド**

消費者物価の前年比は依然として2%を大きく下回っており、今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保を目指した運用を行う方針です。

# お知らせ

## ▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

## ▶ その他

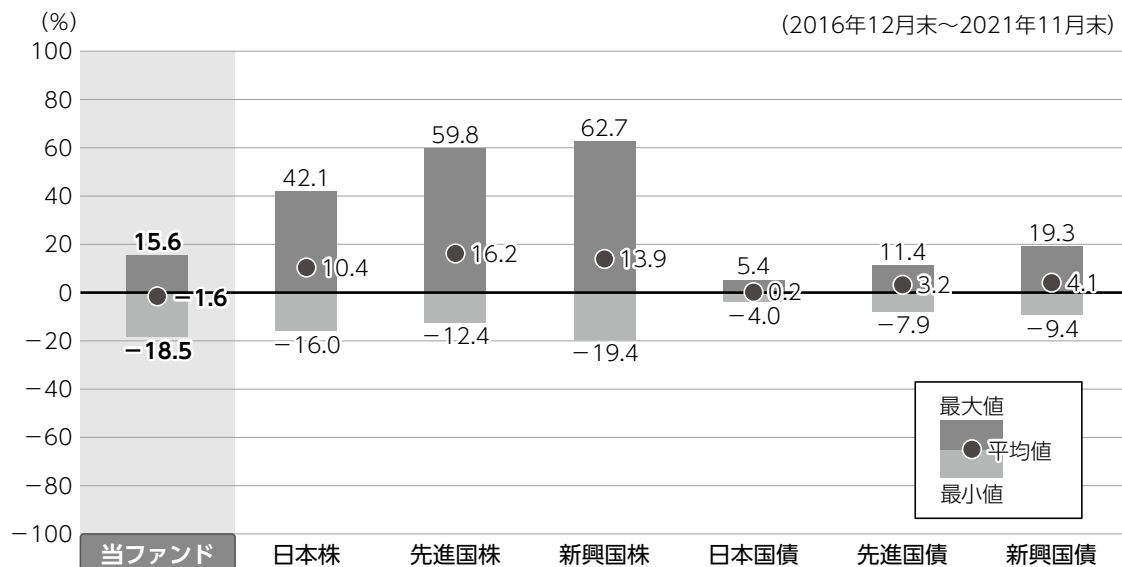
- ・当ファンドは信託約款に基づき、2022年12月27日に信託期間を終了し満期償還となる予定です。

\*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。  
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) にて開示を行っている場合があります。

## 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2022年12月27日まで (2012年4月10日設定)
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	<p>■当ファンド 外国投資法人であるQ T X W C M G D P F u n dが発行する円建の外国投資証券 (Q T X W C M G D P F u n d (日本円建て、ヘッジ無))、マネー・プール マザーファンド受益証券</p> <p>■Q T X W C M G D P F u n d (日本円建て、ヘッジ無) 世界各国の先物取引等に係る権利および金融商品取引所上場 (これに準ずるものを含みます。) 株式</p> <p>■マネー・プール マザーファンド わが国の公社債</p>
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>主として、世界各国の様々な先物取引を活用するとともに、世界各国の株式にも投資を行います。</li> <li>ウィントン・キャピタル・マネジメント・リミテッドが提供する「マネージド・フューチャーズ戦略」および「株式運用戦略」を活用します。</li> </ul>
分配方針	<p>毎年12月27日 (休業日の場合は翌営業日) に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。(ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないこともあります。)</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)</p> </div>

## ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2016年12月から2021年11月の5年間ににおける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

### 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

# 当該投資信託のデータ

2021年12月27日現在

## ▶ 当該投資信託の組入資産の内容

### 組入ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

ファンド名	第10期末 2021年12月27日
Q T X W C M G D P F u n d (日本円建て、ヘッジ無)	95.0%
マネー・プール マザーファンド	0.0%

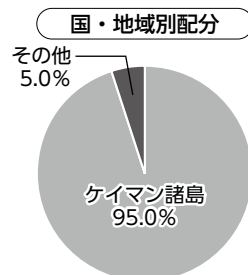
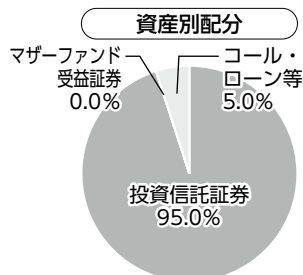
※比率は当ファンドの純資産総額に対する各投資信託証券の評価額の割合です。

### 純資産等

項 目	第10期末 2021年12月27日
純資産総額 (円)	509,226,963
受益権口数 (口)	378,890,175
1万口当たり基準価額 (円)	13,440

※当期中において追加設定元本は 0円  
同解約元本は129,192,367円です。

### 種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

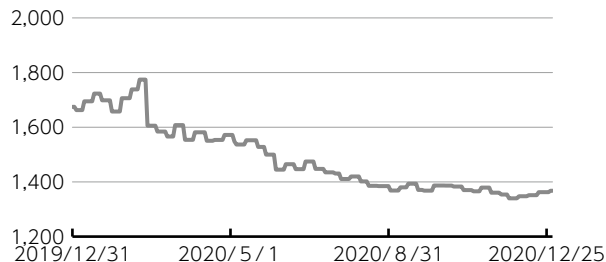
現地2020年12月31日現在

## 組入上位ファンドの概要

### ▶ Q T X W C M G D P F u n d (日本円建て、ヘッジ無)

#### 基準価額の推移

現地2019年12月31日～2020年12月31日  
(円)



基準価額以外の開示情報につきましては、各通貨毎のクラス分けされたものがないため、「Q T X W C M G D P F u n d 全体」ベースで表示しています。

※上記には、分配金が含まれていません。

### ▶ Q T X W C M G D P F u n d 全体

#### 組入上位10銘柄

(ポジション数：552)

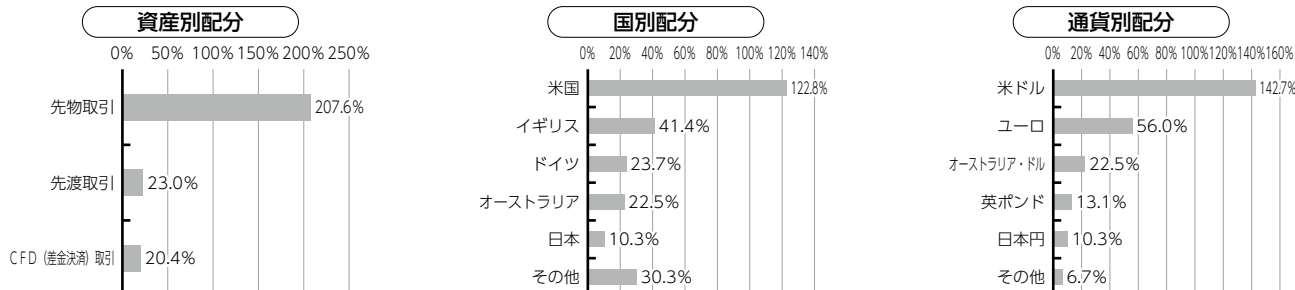
	銘柄名	比率(%)
1	Euribor (Liffe)	23.0
2	Eurodollar	17.6
3	Australian Bills	9.4
4	Euro	8.9
5	Short Sterling	8.7
6	Australian Dollar	8.5
7	Aussie Bonds (3 yr)	7.8
8	5yr Notes	6.8
9	2yr Notes	5.5
10	10yr Notes	5.4

※ポジション数とは銘柄毎の持ち高の種類数をいいます。

※比率はQ T X W C M G D P F U N D の純資産総額に対する割合であり、Q T X W C M G D P T R A D I N G の組入比率に基づき算出した実質ベースの数値で表記しています。



## 種別構成等



※比率はQ T X W C M G D P F U N Dの純資産総額に対する割合であり、Q T X W C M G D P T R A D I N Gの組入比率に基づき算出した実質ベースの数値で表記しています。

※資産別・国別・通貨別配分は、グロス・エクスポージャーの表示となっています。

※国別・通貨別配分は、グロス・エクスポージャーの上位5項目で表示しており、それ以外の項目は「その他」に分類しています。

※当該ファンドの投資顧問会社であるウィントン・キャピタル・マネジメント・リミテッドからの情報に基づき掲載しています。

## 1万口当たりの費用明細

現地2020年1月1日～2020年12月31日

1万口当たりの費用明細に相当する情報がないため、開示できません。

### 「参考情報」

費用項目	比率
信託 (管理) 報酬	1.53%
その他	1.45%
費用合計	2.98%

※上記は、Financial Statementsに掲載されている費用明細を三菱UFJ国際投信が「信託 (管理) 報酬」と「その他」に分類して表示したものです。

※比率は、上記分類による費用金額の合計を期中の平均純資産総額で除した参考値です。

※成功報酬が発生した場合には、信託 (管理) 報酬に含まれます。

154024

2021年7月14日現在

## 組入上位ファンドの概要

### ▶ マネー・プール マザーファンド

#### 基準価額の推移

2021年1月14日～2021年7月14日  
(円)



#### 1万口当たりの費用明細

2021年1月15日～2021年7月14日  
当期において費用が発生していないため、費用明細は作成していません。

#### 組入上位10銘柄

(組入銘柄数：1銘柄)

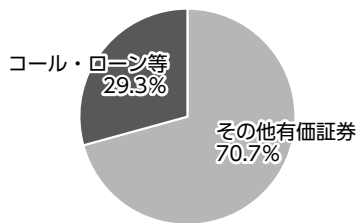
	銘柄	種類	国・地域	業種/種別	比率(%)
1	アミカスF 210715	その他有価証券	日本	コマーシャル・ペーパー	70.7
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

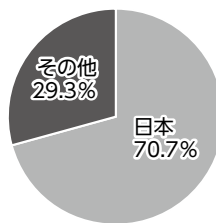
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

#### 種別構成等

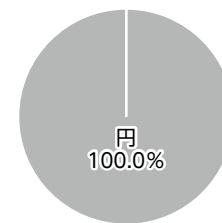
##### 資産別配分



##### 国・地域別配分



##### 通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。  
※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等(国内外)を相手先とした他のファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

ウィントン・キャピタル・マネジメント・リミテッド（以下、「当社」といいます。）は、本資料の内容の正確性や完全性、本資料における表明、あるいは国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープンの各ファンドのパフォーマンスについて、いかなる責任も負いません。当社は、本資料に依拠することによって投資者の皆様や第三者が被る直接的、間接的、派生的又はその他の損害、損失、利益の減少について、いかなる責任を負うこともありません。当社は、各ファンドのマーケティング、販売、売買について責任を負うことも関与することもなければ、マーケティングや広告に関する諸法令の遵守に責任を負うこともなく、さらに、このようなマーケティング、販売、売買に関連する当社の商品やサービスについて、意見を述べることを許された第三者もおりません。当社のアドバイスを受けた他のファンドの過去のパフォーマンスは、各ファンドの将来のパフォーマンスを示すものではありません。

# 指数に関して

## ▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

### ●東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

### ●MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)

MSCI コクサイ・インデックス (配当込み) とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ●MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み) とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ●NOMURA-BPI (国債)

NOMURA-BPI (国債) とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI (総合) のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

### ●FTSE世界国債インデックス (除く日本)

FTSE世界国債インデックス (除く日本) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ●JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権は J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。